

市川市文化会館10周年記念公演

1996. 2. 18

# 市川第九



平成8年2月18日(日)

14:00開演

《市川市文化会館大ホール》

主催：市川市文化会館

協力：「市川・第九」実行委員会

1996

# ごあいさつ

「市川・第九」会長

市川市長

高橋 國雄



市制施行60周年記念の公演に続き、本年も市川市文化会館10周年記念公演として「市川・第九」の公演が盛大に開催されますことを、心からお喜び申し上げます。

本公演は、広く市民の皆様に呼びかけられ、小学生から中高年の方々まで、多数の出演者による公演であります。

これまで、聞き手であった皆さんが専門家の方々と一緒に出演するという、まさに舞台と観客が一体となり、ともに感動を分かち合うところにこの公演の良さがあると思います。

また、楽譜を始めて手にする方、ドイツ語の発音を練習する方など、様々なご苦労があったことと思いますが、いよいよ、5か月間におよぶ練習の成果を発揮する時がまいりました。

出演される皆様をはじめ、関係者の皆様のごこれまでのご努力に拍手を贈るとともに、このたびの公演のご成功を心からお祈り申し上げます。

「市川・第九」実行委員会

委員長

近藤 明子



本日はようこそお出で下さいました。

10年前の昭和60年11月に市川市文化会館のオープニング記念で、市川交響楽団と市川市合唱連盟が協力してはじめて市川市民による《第九》の演奏会が行われました。

それから9年目の平成6年12月に市川市市制施行60周年を祝して《市川・第九》演奏会が行われたことは皆様の記憶に新しいことと思います。

合唱連盟と市響の呼びかけで集められた総勢600余名の団員の熱演と満席のホールの熱気から如何に多くの市川市民が《第九》を待ち望んでいたかがうかがえました。

その市民の熱い思いをお汲みとり下さった高橋市長が今回「市川・第九」会長となられ、市川市文化会館10周年記念の《市川・第九》演奏会を今日再び迎えられることはまことに感無量でございます。

団員達の強い要望に応じて再度指揮して下さる山下一史氏は、前回にも増してきめ細かな暖かい御指導をして下さり心より御礼申し上げます。

又嬉しいことに、近隣の浦安市、江戸川区、習志野市その他の第九合唱団との交流が深まり、本日も多数応援に駆けつけて下さり一緒に歌って下さいます。

歓喜の歌によって地域どうしが手をつなぎ合い心を通わせることができたのです。世界中の人達と音楽によって手をつなぎ心を融け合わせられますよう、今後も当地から《市川・第九》を発信し続けたいと願っております。

最後にこの演奏会にご協力ご支援下さいました多くの方々に厚く御礼申し上げます。

プログラム

L.V.ベートーヴェン

*Ludwig van Beethoven (1770-1827)*

序曲「コリオラン」 作品62

*Overture: CORIOLAN op. 62*

——— 休 憩 ———

交響曲第9番ニ短調 作品125「合唱付」

*Symphony No. 9 d-mol op. 125*

第1楽章 アレグロ・マ・ノン・トロツポ, ウン・ポコ・マエストーソ  
*Allegro ma non troppo, un poco maestoso*

第2楽章 モルト・ヴィヴァーチェ  
*Molto vivace*

第3楽章 アダージョ・モルト・エ・カンタービレ  
*Adagio molto e cantabile*

第4楽章 プレスト・アレグロ・アッサイ  
*Presto. Allegro assai*



指 揮 山下 一史

ソプラノ 西野 薫                      アルト ひらやすかつこ

テノール 島津 勲                      バ ス 砂田 直規

合 唱 「市川・第九」市民合唱団

管 弦 楽 市川交響楽団・市響ジュニアオーケストラ・市民有志  
市川市立鬼高小学校・市川市立第六中学校

## 指揮 山下 一史



1961年広島県に生まれる。  
1977年桐朋学園高校音楽科に入学。  
チェロを井上頼豊氏に、指揮を尾高忠明、小沢征爾、秋山和慶、(故)森正の各氏に師事。

1982年「第17回民音指揮コンクール」で奨励賞を受賞。  
1984年桐朋学園大学を卒業後、西ドイツのベルリン芸術大学に留学して研鑽を積む。  
1985年12月よりヘルベルト・フォン・カラヤン氏の亡くなるまで、彼のアシスタントをつとめる。  
1986年6月、デンマークで開かれた「ニコライ・マルコ国際

指揮者コンクール」で優勝。9月、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団の「第九」演奏会で、予定のカラヤン氏急病のため、急遽ジーンパンのまま代役をつとめ、好評を博し、話題となった。  
1988年1月、第14回「若い芽のコンサート」でNHK交響楽団を指揮、ストラヴィンスキーの舞踏組曲「火の鳥」を演奏。衝撃的なN響デビューを飾る。

1990年4月、オーケストラ・アンサンブル金沢プリンシパル・ゲスト・コンダクター、1992年4月からは1年間オーケストラのパーマネント・ゲスト・コンダクターを務めた。  
なお、1993年の秋よりスウェーデン・ヘルシンボリ交響楽団の首席客演指揮者に迎えられ、日本国内のみならず北欧のオーケストラからも注目を集めており、今後の活躍が期待されている。

## ソプラノ 西野 薫



市川市立八幡小学校、国府台女子学院中学・高等学校卒業、東京学芸大学卒業、大学院修了。第5回日本モーツァルト音楽コンクール第1位、第6回日本音楽コンクール第2位及び田中路子賞受賞。

1989年から1992年まで、イタリアへ留学する。芸大100周年特別記念公演では、山田一雄指揮オペラ「オルフェオ」のアモーレを演じた。海外では、ドイツのボン迎賓館でのコンサートをはじめスイスのヒールにてチェーリッヒオーケストラと「ガラコンサート」では、椿姫、リゴレットを歌う。その他「夢遊病の女・電話・愛の娼薬」など幅広くレパートリーを持っている一方「メサイヤ」「第九」「フォーレ／モーツァルトのレクイエム」NHK、FMリサイタル等、多く出演し日本歌曲の歌唱にも定評がある。昨秋の二期会公演の「ドン・ジョヴァンニ」のツェルリーナでも国際的に通用するソプラノであると、高い評価を得る。新春から上演されているアニメ映画「メモリーズ」の中では、チェコフィルと共演した蝶々夫人で歌声が披露されている。伊藤亘行、高橋大海、高折統、L・グアリーニ、R・エリー、カルラ・バンニーニの各氏に師事。現在二期会会員。



## アルト ひらやす かつこ

武蔵野音楽大学声楽科卒業後、オーストリア国立モーツァルトテウム音楽学院に学ぶ。

二期会、日本オペラ振興会、日本演奏連盟等会員。1991年、文化庁派遣芸術家在外研修員としてドイツ、オーストリア、イタリアに国費留学。1992年、国際交流基金事業人物派遣員「日本文化紹介者」として2度目の国費留学をうけ、単独渡欧。ドイツ、フランスにてリサイタル。ドイツ紙において絶賛を博す。

なお大学で、特待生福井直秋記念奨励賞を受賞。学内コンサートをはじめ卒業演奏会、リサイタル出演依頼を受け、在学中より演奏活動を始める。

CDアルバム「日本のうた『愛』を歌う」ポリドールレコードよりリリース。

NHK教育TV出演はじめ、NHK「FMリサイタル」「午後のリサイタル」他出演。

朝日カルチャーセンター声楽講師、保護司。

## テノール 島津 勲



1968年、武蔵野音楽大学声楽科、専攻科修了。

1978年、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科を最優秀の成績で卒業。帰国後リサイタルを恩師R・ショルム氏の伴奏で開催。以後、毎年ドイツ歌曲を中心にリサイタルを開催。合唱団とのかかわりあいも多く、市川児童合唱団とのマレーシア演奏旅行をはじめとし、ソリストとしてコンサートやオペラに出演している。

現在、学校法人尚美学園東京コンセルヴァトワール尚美総合舞台芸術部門助教として、声楽の指導や地域文化の推進に力を注いでいる。

日本フーゴ・ヴォルフ協会同人、市川市民合唱団、浦安混声合唱団の指揮者としても活躍している。

「市川・第九」合唱指導を担当。



## バス 砂田 直規

信州大学教育学部卒業。東京混声合唱団4年間の在団を経て東京芸術大学大学院オペラ科修了。在学中、芸大オペラ定期公演「修善寺物語」の夜叉王役で出演して注目を集め、以来多くのオペラに出演する。「袈裟と盛遠」の盛遠、「祝い歌

が流れる夜に」の金沢一郎、「すて姫」の袴野ノ麿など邦人オペラを始め「フィガロの結婚」の伯爵、フィガロ、「椿姫」ジェルモン、「蝶々夫人」シャープレス、ボンゾなど多くのレパートリーを持つ。豊かな声量とバリトン離れた音域、及びダイナミックな表現力を具えており、貴重なバリトンとして注目されている。

ポーランド「ワルシャワの秋音楽祭」、パリ「フランス革命200年記念祭」、デンマーク「オーデンセ友好コンサート」、芙蓉合唱団「シドニー・オペラハウス公演」等に出演。好評を博した。また合唱音楽にも情熱を注いでおり、国府台女声、芙蓉合唱団、富士銀行混声合唱団を始め6合唱団の指揮者を務める。

## 序曲「コロオラン」 作品62

1807年にベートーヴェンが作曲した序曲「コロオラン」は、当時ウィーンで上演した紀元前5世紀頃の英雄を題材にとった悲劇「コロオレーナス」がきっかけとなった作品です。あらすじは、政治上の理由でローマを追放された英雄コロオラヌスが、敵対国の将軍となりローマに攻め寄せますが、ローマにとり残された母親と妻の説得にあい、苦悩の末ローマ側に寝返えるが、最後は処刑されて

しまうというものです。

曲はだいたい物語りの行進と同じく進み、最初の部分は英雄の勇ましい様子や情熱を、ヴァイオリンから木管群にひきつがれる第2主題は、母親や妻の愛情をあらわします。展開部はいるとこれがさまざまに姿を変え、おりかさなって聴こえてきますが、終結部は英雄の死を暗示するように静かに曲をとじます。



## 交響曲第9番 二短調 作品125 「合唱付」

ベートーヴェンが完成した最後の交響曲であるこの曲は、1817年から1823年にかけて作曲された。全楽章中でもシラー作頌歌「歓喜に寄す」を合唱とした第4楽章はとりわけ有名であり、これまで純器楽作品であった交響曲の分野に始めて声楽を取り入れたという点でも音楽史上記念碑的な作品である。

もっとも、ベートーヴェンは20年代前半にすでに前出の「歓喜に寄す」への作曲を考えていたらしい。彼は、第7、8交響曲完成後新作の二短調交響曲の作曲に本格的に着手するが、これと平行する形で、合唱付のもうひとつの交響曲の作曲構想を抱いていた。しかし、その過程で、当初純器楽曲として筆を進めていた二短調交響曲の終楽章を合唱付き楽章として、2つの交響曲を一本化してしまった。こうして、現在私たちが耳にするこの長大な第9交響曲は誕生したのであった。

初演はウィーンのケルトネルト劇場で1824年5月7日に作曲者自身の指揮によって行われた。演奏終了後、聴衆の熱狂的な拍手がベートーヴェンに浴びせられたが、すでに聴覚を失っていた彼にわかるはずもなく、見るにみかねたアルト歌手、ウンゲルがベートーヴェンを正面に向きなおし、

彼ははじめてこの喝采のありさまを目にすることができたという話は、余りにも有名なエピソードである。

第1楽章は、神秘的な和音の響きの中に分散和音が奏され、次第に高潮して行く中で第1主題へと導かれていく。きわめて凝縮され、決定的な第1楽章に対して、あふれ流れるような第2主題はまず木管楽器によって提示され、ヴァイオリンへと受け継がれる。第2楽章は、通例の交響曲とは形式を異にしソナタ形式を含むスケルツォであり、ティンパニが特徴的な使われかたをしている。第3楽章は、ふたつの主題による変奏曲形式をとる。最初の主題は木管と第1ヴァイオリンに現れ、もうひとつの主題は、第2ヴァイオリンとヴィオラによって提示される。第4楽章は、シラー作頌歌「歓喜に寄す」に基づくカンタータ形式をとる。人類が歓喜にたどり着く前にはいくつかの試練を乗り越えなければならない。この苦悩を示すために、管楽器群よる強奏でこの楽章は始まる。そして何回かの試練の後、苦悩が振り払われ、歓喜へと高まって行く。この表現はベートーヴェンのめざした音楽の集大成というべきものであろう。



## 「市川・第九」実行委員会

今回の「市川・第九」演奏会は地元、市川市で音楽に関係した文化活動を行っている市川市合唱連盟と市川交響楽団協会が市川市制施行60周年にちなんだ市民レベルの記念行事を立案したもので、一所属団体の行事を越えてより多くの市民に「第九」演奏会への参加を呼びかけ、さらなる文化活動の拡大を計りたいとの趣旨に、市川市文化会館の主催協力が得られ実現のはこびとなったものです。

本番までの準備については合唱連盟、市響、文化会館の3者による実行委員会を設立し、参加者の募集や練習計画は合唱連盟と市響が従来の文化活動のノウハウを生かし運営する一方、指揮者、独唱者の出演交渉、練習会場の提供については文化会館が担当するなど、一歩踏み込んだ協力体制は、地元の文化活動に励むアマチュア音楽団体とその発表場所である音楽ホールとのあいだに新しい関係が示されたものと考えております。

会 長	市川市長	高橋 國雄		
委員 長		近藤 明子	副委員長	横田 行雄
事務局		時田 雄・酒井 玄枝	会 計	宮内 真弓
委 員		高橋 圓・時田 剛		(市川市文化会館)

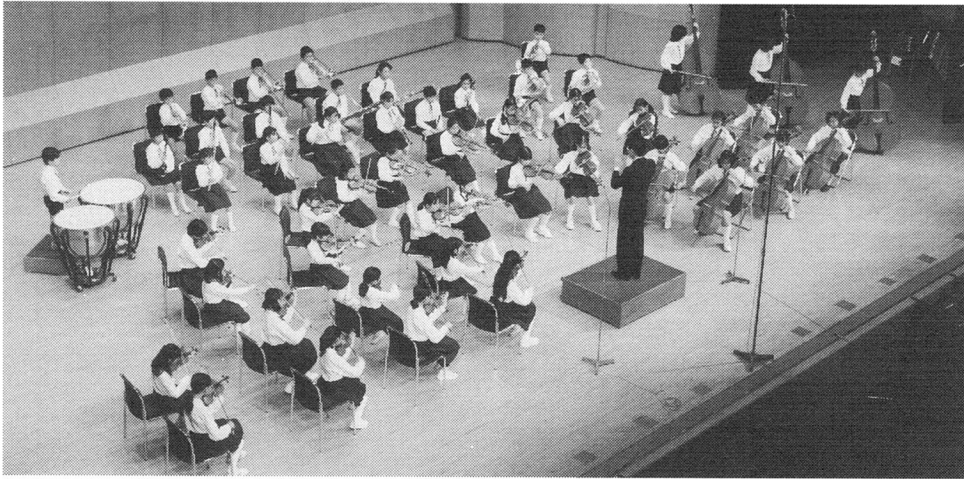
## 「市川・第九」市民合唱団

「市川・第九」演奏会のために一般公募により編成された混声合唱団で、運営は市川市合唱連盟の役員を中心として行われました。年齢層は幅広く16才から70才まで、職業も多彩で会社員、公務員、主婦などがメンバーに加わりました。またメンバーのうち約3割の人が「第九」の合唱に初挑戦です。9月10日の結団式を皮切りに多く練習を経て本番のステージに挑みこれまでの成果をご披露します。

## 市川交響楽団および市民有志

本年、創立44年を迎える、アマチュアとしては全国有数の伝統あるオーケストラ。現在メンバーは120余名、年齢構成は20代から70代の大変広い層にわたり、職業も会社員、教師、主婦など多彩で、市川市で開かれる演奏会を中心に全国各地で開催される文化行事や、オーケストラフェスティバル等にも出演し演奏を披露しています。著名な音楽家との競演も多数経験していますが、地元市川市ゆかりの音楽家との競演も積極的に行い演奏会を通じて、地域文化の振興に力をいれています。また、市川混声合唱団・市川交響吹奏楽団、行徳混声合唱団、市響ジュニアオーケストラとともに市川交響楽団協会を構成し、クラシック音楽をより多くの市民に楽しんでもらえるよう活動しています。

## 市川市立鬼高小学校



年間の活動は校内行事を中心に各種コンクール、発表会への参加、年度末に第六中学校と合同で開催する演奏会がある。(本年は3/22市川市文化会館にて開催)

現在の部員は54名。本年度より3年生から活動するようになり、にぎやかな雰囲気の中で地道な活動を続けている。顧問・指導者は富田政芳。

## 市川市立第六中学校



昭和63年、それまでの吹奏楽部に加え管弦楽部として活動をはじめて以来8年間の活動がある。3年生が受験のため活動を中止している現在は、1・2年生40名が在籍、卒業生や学区小学校、市響ジュニアオーケストラとの合同などで月一回は、発表の機会を設けている。鬼高小学校とは、当会館で合同の演奏会を年1回行っており、今年が4回目となり3月22日の開催が予定されている。

部員のほとんどが専門家による指導を受けることがはじめてであり、今回の演奏を非常に楽しみにしている。顧問・指導者は高梨 治夫。

# 合唱指導

## 近藤 明子



武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。  
合唱指揮を佐々金治、福永陽一郎の両氏に師事。  
千葉県合唱連盟個人会員、千葉県婦人合唱連盟特別会員。合唱祭等の講師者、合唱講習会や講演会の講師をしばしばつとめる。

市川市においては、市川市合唱連盟理事長として地域に根ざした合唱の振興発展に力を注ぎ、市川市民合唱祭、歌の広場、合唱講習会、市川駅コン等をこなしている。

コールエコー女声合唱団、市川市民合唱団他の指揮者としても活躍している。

## 島津 勲



プロフィール参照

# ピアノ伴奏

## 鈴木 珠美

1990年、国立音楽大学ピアノ科卒業。故クロイツァー豊子、篠井寧子、村松庸子の各氏に師事。第20回家永音楽事務所ピアノ・オーディション合格。第35回国立音楽大学ソロ・室内楽定期演奏会。国立音楽大学道庁会千葉県支部コンサート、市川市文化会館新人演奏会、市川市少年自然の家主催「プラネタリウム・コンサート」、千葉県高等学校教員演奏会、市川オペラ振興会主催「スプリングコンサート」「日曜日の夕べ」、市川公民館「音楽ギャラリー」等に出演。

## 鈴木 直子

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。読売新人演奏会出演。新井精、E.ニワ、G.バシヤヘーリ、渡辺規久雄、森安耀子の各氏に師事。1993年「魔笛」、1994年「コシ・ファン・トゥッテ」船橋オペラ教室公演全曲伴奏者。ほか八千代オペラ教室、国府台女声、コーラルリーフ、竜ヶ崎少年少女合唱団伴奏者。

## 小野 祥子

武蔵野音楽大学ピアノ科卒業。  
小川ゆかり氏に師事。これまでに、合唱・声楽・器楽ソロの伴奏を数多くつとめる。又、第九・メサイア・オペラの練習ピアニストとしても活躍。

# 「市川・第九」市民合唱団

## ソプラノ

相沢 久子  
赤羽 歌子  
安部都志子  
安斎 美篠  
石井 洋子  
井手 章子  
井上 孝枝  
井上 啓子  
井料 京子  
内田 章子  
内田真理子  
宇土 好江  
梅津れい子  
江原 容子  
太田貴慧子  
大前 幸枝  
大屋 和子  
片岡 邦子  
加藤 和子  
川又 京子  
君島由紀子  
木村智恵子

日下部綾子  
久保とき子  
熊谷 利子  
熊谷 百代  
黒木八千代  
甲原 住恵  
小嶋 史江  
近藤 久子  
斉藤美佐子  
酒井 玄枝  
篠塚 薫  
篠田 祐子  
清水 節子  
白木 道枝  
白澤英理奈  
城向貴美代  
鈴木 恵子  
鈴木佐紀子  
鈴木 紫磨  
鈴木 靖子  
瀬川 麗子  
高木 香織

高橋 麻子  
高橋美緒子  
滝口三津子  
田澤喜世子  
巽 篤子  
田中 昭子  
田中佐喜子  
田中 豊子  
田中みや子  
田辺かつ代  
鶴岡 房江  
中島 広子  
中野 かよ  
中村安輝子  
中村 信子  
南雲 綾子  
野口 和子  
野尻 明子  
橋本 晴美  
長谷川仁子  
長谷川真弓  
春川 礼子

平賀八千代  
深井 朋美  
福嶋 裕子  
藤井 貴子  
古田 陽子  
帆刈 智子  
前田 澄子  
松本寿美子  
松本 孝子  
鞠子 和子  
丸山 京子  
丸山美千代  
三田 尚子  
三宅 明子  
宮村 広子  
安田 郁  
山下 伸子  
山田 治子



✿ アルト

相羽喜恵子  
 坏 愛子  
 生明 夏子  
 安斉 明子  
 安藤 照子  
 飯田 啓子  
 井草 睦子  
 伊澤 範子  
 伊藤 裕子  
 岩瀬 知美  
 岩田 祐子  
 上野由紀恵  
 内田アヤ子  
 内田 利子  
 宇野 法子  
 越後 充子  
 海老原いく子  
 大島まり子  
 大島 庸子  
 大西 元子  
 大貫 永子  
 岡村美恵子  
 小倉 明子  
 小野百登子  
 海宝 敏子  
 河西ちえ子

笠原 勝子  
 風祭 咲子  
 片岡 貞子  
 片岡 洋子  
 勝又 国江  
 加藤真理子  
 金島 優子  
 金子 和恵  
 金子テル子  
 川畑 隆子  
 河村 公子  
 神林 佑子  
 神戸 和子  
 菊地 倫子  
 木村ひさ子  
 京増 初枝  
 日下 泰子  
 久保 正子  
 黒阪登志子  
 小原 宣子  
 小林 順子  
 小林 美穂  
 小屋 玲子  
 近藤 和美  
 今野美智子  
 斉藤 照子

斉藤 濤子  
 崎田真美子  
 酒向 朝香  
 柴田 幸子  
 白旗佐代子  
 平良 久子  
 高橋 澄子  
 高橋 直子  
 高橋 信子  
 高橋みどり  
 立原 未緒  
 瀧本 安美  
 竹内 厚子  
 竹内 久子  
 田崎 京子  
 田崎二三江  
 多田小百合  
 田所美佐子  
 田中美智子  
 谷川恵美子  
 谷口いづみ  
 谷口 光子  
 常松 公子  
 角田 敦子  
 富川 洋美  
 仲 玲子

中澤 和子  
 中村ヒサ子  
 中村美津江  
 中山 貞子  
 長沢 瑛子  
 長瀬千鶴子  
 西川けさ子  
 野口 笑子  
 野口 恭子  
 野口 輝子  
 野瀬富美子  
 長谷川貞子  
 長谷川友子  
 長谷川友子  
 浜野 旭子  
 平野 恵子  
 平野なみ枝  
 広瀬貴代子  
 藤井 礼子  
 藤田 和子  
 古川三重子  
 堀田 悦子  
 前川富美子  
 増田きよ子  
 松塚貴美子  
 松田 陽子

松原 俊子  
 松本千恵子  
 間部 しほ  
 三上 滋子  
 水沼 裕  
 溝田 政子  
 見谷 静枝  
 三橋 令子  
 宮内 真弓  
 宮下 雅子  
 村上 昭子  
 村瀬 恵子  
 村田裕佳子  
 村松 いく  
 百瀬 和子  
 百瀬 真弓  
 森 美千代  
 山内 順子  
 吉田もと子  
 吉田 裕子  
 米原香穂子  
 渡辺 典子  
 渡辺真保美

✿ テノール

秋田 優治  
 秋山 卓宏  
 安藤 敬  
 飯岡 直樹  
 石原 秀雄  
 井関 裕義  
 内田 勉  
 遠藤 實  
 太田 清

太田 豊  
 岡野 信也  
 小川 幹彦  
 奥田 敏行  
 柏木 申也  
 小谷 吉輝  
 神枝 拓也  
 澤田 弘造  
 宍倉 皓

篠田 要衛  
 柴田 忠  
 嶋村 徹  
 鈴木 淳夫  
 田窪 実  
 竹内 友章  
 寺島 弘高  
 外池 東平  
 友野 信善

中澤 一紀  
 畑田 栄一  
 早川 清  
 東谷 義敬  
 平野 吉延  
 藤原 邦彦  
 布施 陽由  
 本田 利信  
 増井 寛

松場 孝三  
 松本 賢志  
 美里 直毅  
 水野 智章  
 三田村 元  
 南 隆夫  
 吉田健一郎

✿ バス

阿部 晃  
 安倍 幹夫  
 石田 剛  
 一番ヶ瀬孝幸  
 上野 文廉  
 植村 俊輔  
 内田 浩昭  
 大島 雅之  
 大友 亀男  
 荻野 広巳

柏葉 隆行  
 加藤 芳明  
 神田 春彦  
 輿 光俊  
 小島 義視  
 小松崎 厚  
 近藤茂一郎  
 佐藤 文男  
 澤 麗奈  
 島田 修

清水 王人  
 杉山 博治  
 高田 峰幸  
 高村 泰弘  
 田口 雄吾  
 田崎 幸雄  
 巽 由紀夫  
 長 吉之助  
 筒井 俊一  
 遠山 光栄

鴫田 稔  
 中根 茂  
 長谷川康啓  
 馬場 玄翔  
 福井 圭  
 藤本 健介  
 藤原平八郎  
 古田 友弘  
 古山 雄一  
 牧内 篤夫

増田 義人  
 蓑浦 宏  
 宮内 昌文  
 森川 健作  
 安江 寛  
 安田 博雄  
 山中 浩史  
 山村 晟

協力団体

浦安市民第九合唱団

習志野第九合唱団

江戸川第九を歌う会

浦安混声合唱団

津田沼混声合唱団

# オーケストラ練習指導

## 吉田 裕史 (指揮)

1968年生れ。千葉県立国府台高校卒業。現在、東京音楽大学指揮研究科に在籍し、指揮を汐澤安彦、ピアノを岡藤由希子コントラバスを小野崎充、音楽理論を有馬礼子、糞場富美子各氏に師事。

市川交響楽団、水戸ジュニアオーケストラ、グローバルフィル等の各オーケストラの指揮者、トレーナーとして活躍する他、長岡市民合唱団をはじめとする各合唱団の指揮を務める。オペラの分野においては「カルメン」「ルクレーシア凌辱」等の制作に携わり、昨年「フィガロの結婚」を指揮、好評を博した。'94年ウィーン・マイスターコース指揮セミナー修了。

※ヴィオラ奏者 鈴木志のぶさん (市響ジュニア出身・国立音大卒) にもご協力をお願いしました。

## 根津 昭義 (ヴァイオリン)

1949年 東京に生まれ、3歳の頃より才能教育でヴァイオリンを学ぶ。

1971年 東京大学理学部を卒業後、1972年東京芸術大学に入学、在学中は、山岡耕筈氏、田中千香士氏に師事、他にヴォルフガング・ミュラー氏、ノーマン・キャロル氏の指導も受ける。

1976年 東京芸術大学を卒業後、NHK交響楽団に入団、その演奏活動に従事するかたわら、数回にわたるリサイタルを開催し、現在に至る。日本演奏連盟会員。

## オーケストラ出演者〈ベートーヴェン 序曲コリオラン〉 市川市立鬼高小学校・第六中学校 合同オーケストラ

### 第1ヴァイオリン

丸山 真以(鬼高小)  
大根田明子(鬼高小)  
中村 幸恵(鬼高小)  
鈴木 晴恵(六中)  
岩戸めぐみ(六中)  
田中 由紀(六中)  
中原 麻実(六中)  
江口 那智(六中)  
牧野 好伸(六中)

### 第2ヴァイオリン

橘 理恵(鬼高小)  
山内 愛(鬼高小)  
鳩 綾子(鬼高小)  
遠藤 麻友(六中)  
猪原 悠子(六中)  
比嘉 陽子(六中)  
我妻 厚志(六中)  
宮原 由紀(六中)

### ヴィオラ

藤井 麻衣(鬼高小)  
宇田川夢佳(鬼高小)  
片桐のぞみ(六中)  
荒井 石路(六中)  
膝館みなみ(六中)  
立原 麻衣(六中)

### チェロ

鈴木 悠理(鬼高小)  
石割 南帆(鬼高小)  
長滝 由実(六中)  
石川奈緒子(六中)  
安藤 楨恵(六中)  
松崎グレギィー(六中)

### コントラバス

榎並友利子(鬼高小)  
中川 由香(鬼高小)  
佐藤 舞子(六中)  
曾根沙恵子(六中)  
坂本 鎮隆(六中)  
野中 綾乃(六中)

### フルート

二神 早苗(六中)  
青木 麻美(六中)

### オーボエ

泉谷 朱里(六中)  
安田久美子(六中)

### クラリネット

橋本 智絵(六中)  
山谷 拓(六中)  
前田 裕介(六中)

### ファゴット

石塚 稷太(六中)  
吉川 浩太(六中)

### ホルン

渋谷 美保(六中)  
長屋 剛(六中)  
中沢 貴明(六中)

### トランペット

松崎 順(六中)  
大村 直之(六中)  
正木 久子(六中)

### チューバ

磯村麻衣子(六中)  
石割亮太郎(六中)

### 打楽器

永田 享子(六中)

# オーケストラ出演者〈ベートーヴェン 交響曲第9番〉 市川交響楽団・市響ジュニアオーケストラ・市民有志

## 第1ヴァイオリン

石本 恵理  
 亀井 玲子  
 鈴木 薫  
 鈴木 淳子  
 竹内 甲  
 竹田 俊男  
 堤 哲児  
 寺村 真紀  
 堂本 祐司  
 永田 匡  
 福原 祥子  
 松山 和子  
 横田富美子  
 渡辺 昭子  
 渡辺千恵子

根守 弘和  
 久田しげ子  
 平野 弘子  
 深沢 武夫  
 松延 裕子  
 三木美千子  
 溝田 範子  
 村上 葉子  
 村田 康代  
 横田佐貴絵

## ヴィオラ

浅野さとみ  
 伊東 淳子  
 岩本 泰  
 斎藤十一郎  
 鈴木志のぶ  
 高橋 行継  
 竹内ひとみ  
 中渡 孝  
 奈良林弘子  
 星 乗昭  
 水野 桃子  
 村上 賢一

横田 行雄  
 若林 繁  
 渡部 玲子

## チェロ

池田 寛之  
 倉沢 由和  
 瀬川 清  
 田頭 扶  
 中村 公一  
 南明由美子  
 根岸 朋子  
 樋口 進  
 福原 耕二  
 山口 勝規  
 横田 朝之

## コントラバス

池田 和正  
 内田 葉子  
 菊池 克彦  
 鈴木 重則  
 高橋 耕二  
 村上 信乃

李 隆子  
 八鍬 健

## フルート

木村 純一  
 木村真諭紀  
 佐藤 洋行

## オーボエ

荒井 淳  
 田丸 朋美  
 二村 直子  
 山地 順子

## クラリネット

一瀬 直美  
 井垣 貴嗣  
 時田 雄  
 中屋 志保

## ファゴット

金坂 哲  
 菅原 斉  
 吉儀富貴子

## ホルン

越塚 康央  
 近藤 利昭  
 嶋村 恒夫  
 林田 朋子  
 藤井 茂司  
 山本 恭子

## トランペット

加地 光  
 新井本昌宏

## トロンボーン

久保 昭  
 稲沢 妙絵  
 藪崎 裕至

## 打楽器

岩橋 正治  
 岩上 晃  
 松浦 克彦  
 都筑 裕

## 第2ヴァイオリン

相原 美音  
 岩田 徳子  
 遠藤 利幸  
 香川 洋子  
 須永 恒雄  
 二宮 伸雄

## —— 催し物のご案内 ——

公演日	公 演 名	入場料	開演時間	間 合 せ 先	会 場
3/2(土)	市川市文化祭「春の合唱祭」	無 料	12:30	市川市教育委員会文化課 0473-34-1111	小ホール
3/3(日)	第251回 市響 吹奏楽団コンサート	無 料	14:00	市川交響楽団協会 0473-78-1619	大ホール
3/3(日)	第3回市川市芸術文化集会 日本古典芸能および合唱公演	無 料	13:30	市川市芸術文化団体協議会事務局 0473-34-1111	小ホール
3/20(水)	第252回市響「室内楽の午後」	無 料	14:00	市川交響楽団協会 0473-78-1619	大ホール
3/22(金)	市川市立第六中学校・ 鬼高小学校合同演奏会	無 料	18:00	市川市立第六中学校 0473-70-0535	大ホール

◇◇◇◇ 市川市文化会館 主催公演 ◇◇◇◇

谷村 新司 3月6日(水)  
 I・T・A・N 3月7日(木)  
 RECITAL'95-'96 19:00開演  
 CORAZON IX  
 《大ホール》 S:6500円 A:6000円

人形浄瑠璃  
 文楽  
 《大ホール》

3月15日(金)  
 14:00/18:15開演  
 全席指定 一般 4000円  
 学生席2000円

演目および出演  
 14:00 御所桜堀川夜討(弁慶上使の段)  
 日高川入相花王(渡し場の段)  
 人形/吉田 襄助(人間国宝)他  
 18:15 近頃河原の達引(堀川猿廻しの段)  
 義経千本桜(道行初音旅)  
 大夫/竹本住大夫(人間国宝)  
 人形/吉田 襄助(人間国宝)他

さだまさし 3月18日(月)  
 ~SAYONARA NIPPON~ 18:30開演  
 《大ホール》 S:売り切れ A:5500円(僅少)

NHK交響楽団 3月21日(木)  
 第10回市川公演 19:00開演  
 《大ホール》 S:5000円 A:4000円  
 B:3000円 学生席:1500円

指揮:ハイツ・ワルベルク  
 ヴィオラ:今井 信子  
 曲目:シュトラウス/交響詩「ドン・ファン」  
 ヒンデミット/ヴィオラ協奏曲「白鳥踊りの人」  
 メンデルスゾーン/交響曲第4番「イタリア」

バーデン市立劇場  
 オペレッタ  
 「メリー・ウイドー」 4月27日(土)  
 (陽気な未亡人) 18:00開演  
 《大ホール》 S:5000円(僅少) A:4000円  
 学生席:2000円

全3幕  
 作:フランツ・レハール  
 監督:ルチア・メシュヴィッツ  
 指揮:ゲアハルト・ラルガンシェ  
 管弦楽:バーデン市立劇場管弦楽団

鼓 童 5月22日(水)  
 18:30開演  
 《大ホール》 S:3500円 A:2500円

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能  
 に無限の可能性を見だし、つねに  
 新しい音の創造を試みる集団

2月24日(土)発売

※税込み ※学生は会館のみ発売

主催/市川市文化会館  
 問合せ・申し込み/☎0473-79-5111